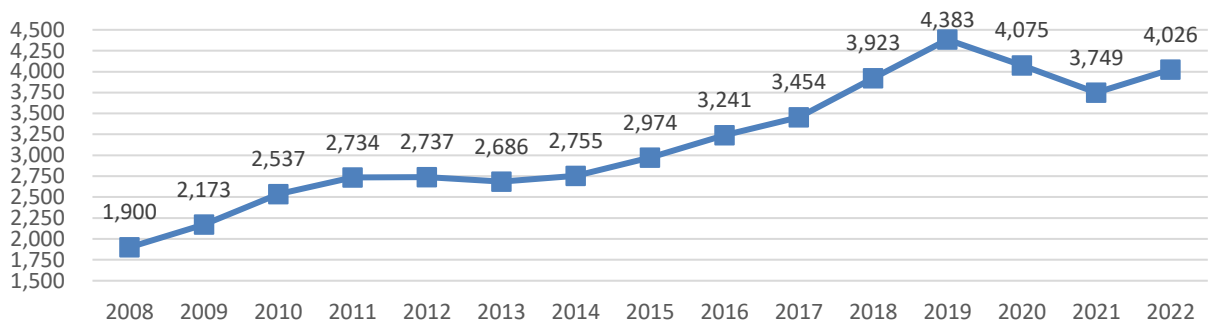


#### 4. 道内外国人留学生の状況

(1) 道内の留学生の推移(毎年5月1日現在)



※ 在留資格制度の変更により、2011年以後の留学生数には、日本語教育機関に在籍する留学生数も含まれる。

(出典: 独立行政法人日本学生支援機構「留学生調査」)

(2) 留学生在籍学校数(毎年5月1日現在)

学 種	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
大 学	29	28	27	26	28	30
短 期 大 学	3	3	3	2	1	2
高等専門学校	4	4	4	4	4	4
専 修 学 校	33	34	26	31	32	39
日本語教育機関	7	10	10	11	7	11
合 計	76	79	70	74	72	86

(出典: 独立行政法人日本学生支援機構「留学生調査」)

(3) 学校種別留学生人数(毎年5月1日現在)

学 種	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
大 学	2,842	3,217	3,493	3,347	3,260	3,214
短 期 大 学	27	35	50	61	33	9
高等専門学校	35	35	33	28	37	37
専 修 学 校	251	327	310	269	278	400
日本語教育機関	299	309	497	370	141	366
合 計	3,454	3,923	4,383	4,075	3,749	4,026

(出典: 独立行政法人日本学生支援機構「留学生調査」)

(4) 国籍・地域別留学生人数(毎年5月1日現在)

国 名	2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
中 国	1,679	48.6%	1,866	47.6%	2,114	48.2%	2,175	53.4%	2,205	58.8%	2,134	53.0%
韓 国	258	7.5%	334	8.5%	366	8.4%	272	6.7%	239	6.4%	240	6.0%
ベトナム	237	6.9%	333	8.5%	411	9.4%	311	7.6%	203	5.4%	215	5.3%
タイ	140	4.1%	158	4.0%	131	3.0%	102	2.5%	115	3.1%	178	4.4%
台湾	192	5.6%	200	5.1%	235	5.4%	176	4.3%	144	3.8%	167	4.1%
インドネシア	97	2.8%	94	2.4%	100	2.3%	78	1.9%	83	2.2%	130	3.2%
ネパール	57	1.7%	89	2.3%	139	3.2%	99	2.4%	57	1.5%	115	2.9%
モンゴル	49	1.4%	69	1.8%	71	1.6%	71	1.7%	74	2.0%	95	2.4%
マレーシア	101	2.9%	106	2.7%	108	2.5%	104	2.6%	82	2.2%	86	2.1%
インド	34	1.0%	40	1.0%	49	1.1%	51	1.3%	56	1.5%	60	1.5%
バングラデシュ	68	2.0%	69	1.8%	68	1.6%	63	1.5%	52	1.4%	59	1.5%
アメリカ合衆国	62	1.8%	55	1.4%	45	1.0%	40	1.0%	27	0.7%	40	1.0%
ロシア	24	0.7%	28	0.7%	21	0.5%	30	0.7%	30	0.8%	36	0.9%
フィリピン	37	1.1%	37	0.9%	42	1.0%	48	1.2%	29	0.8%	34	0.8%
その他	419	12.1%	445	11.3%	483	11.0%	455	11.2%	353	9.4%	437	10.9%
合 計	3,454	-	3,923	-	4,383	-	4,075	-	3,749	-	4,026	-

(出典: 独立行政法人日本学生支援機構「留学生調査」)

(5) 道内における日本語教育機関（日本語学校）の所在状況

名称	所在市町村	法務省告示
旭川福祉専門学校	東川町	○
岩谷学園ひがし北海道日本語学校	中標津町	○
インターナショナルアカデミー	札幌市	○
大原公務員・医療事務・語学専門学校函館校	函館市	○
札幌青葉鍼灸柔整専門学校 日本語学科	札幌市	○
札幌国際日本語学院	札幌市	○
札幌ランゲージセンター	札幌市	○
創研学園看予備日本語科	札幌市	○
日本国際語学アカデミー・函館校	函館市	○
東川町立東川日本語学校	東川町	○
HISAE 日本語学校 北海道とまこまい校	苫小牧市	○
北海道アスクゲート日本語学校札幌本校	札幌市	○
北海道H S L日本語学校	恵庭市	○
北海道日本語学院札幌本校	札幌市	○
北海道福祉教育専門学校 専攻科日本語教育課程	室蘭市	○
友ランゲージアカデミー札幌校	札幌市	○
理知の杜日本語学校函館校	函館市	○
ワンワールド日本語学校	旭川市	○
SIL 札幌日本語学院	札幌市	-
北海道ジャパニーズランゲージスクール	札幌市	-

※日本語教育機関(日本語学校)・・・日本語の学習を主な目的として来日し滞在する外国人を対象に日本語教育を行う機関

※法務省告示・・・日本語教育機関のうち、在留資格「留学」を付与することができる機関として法務省が定めるもの

(道総合政策部国際局国際課調べ)

## 5. 教育における国際化・交流の状況

### (1) 道立高等学校における外国語関連学科等の設置状況

内容	設置校	
高等学校設置基準の「外国語に関する学科」	札幌国際情報高校(国際文化科)、千歳高校(国際教養科)	
英語以外の語学授業	中国語	札幌丘珠高校、札幌白陵高校、札幌国際情報高校、札幌東商業高校、有朋高校、千歳高校、石狩翔陽高校、小樽未来創造高校、苫小牧総合経済高校、旭川南高校、清水高校、白糠高校、釧路明輝高校
	韓国語	札幌丘珠高校、札幌東陵高校、札幌国際情報高校、札幌東商業高校、千歳高校、小樽未来創造高校、苫小牧総合経済高校、旭川南高校、旭川商業高校、釧路明輝高校
	ロシア語	札幌丘珠高校、札幌国際情報高校、有朋高校、石狩翔陽高校、旭川南高校、釧路明輝高校、根室高校
	フランス語	札幌国際情報高校、釧路明輝高校
	ドイツ語	釧路明輝高校

(道教育庁学校教育局高校教育課調べ)

### (2) 道内における外国青年招致事業(JETプログラム)によるCIR・ALT・SEAの配置状況

区分		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
北海道	国際交流員(CIR)	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4
	外国語指導助手(ALT)	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	60
	小計	65	65	65	65	65	65	65	66	66	66	64
札幌市	国際交流員(CIR)	5	5	6	6	7	7	7	7	7	7	7
	外国語指導助手(ALT)	35	35	36	35	35	35	35	35	35	35	35
	小計	40	40	42	41	42	42	42	42	42	42	42
市町村(札幌市除く)	国際交流員(CIR)	18	20	24	24	21	23	23	25	33	31	30
	外国語指導助手(ALT)	190	188	189	187	156	165	187	199	218	210	211
	ｽﾎﾟｰﾂ国際交流員(SEA)	-	-	1	2	2	4	3	4	5	5	6
	小計	208	208	214	213	179	192	213	228	256	246	247
私立学校	外国語指導助手(ALT)	-	-	-	-	4	6	7	6	6	5	6
	小計	-	-	-	-	4	6	7	6	6	5	6
全体	国際交流員(CIR)	26	28	33	33	31	33	33	36	44	42	41
	外国語指導助手(ALT)	287	285	287	284	257	268	291	302	321	312	312
	ｽﾎﾟｰﾂ国際交流員(SEA)	-	-	1	2	2	4	3	4	5	5	6
	計	313	313	321	319	290	305	327	342	370	359	359

(道総合政策部国際局国際課調べ)

6. 在住外国人支援の状況

(1) 市町村における在住外国人への支援状況(2023年4月1日現在)

支援内容	実施市町村数
外国語版ホームページ開設	97
外国語版広報誌の作成	6
外国語版パンフレットの作成	97
生活に関連するガイドブック作成	47
通訳ボランティアの登録制度	17

支援内容	実施市町村数
外国人からの相談体制 (うち外国人相談員の設置)	49 (22)
日本語学習支援	26
文化施設の無料開放	28
在住外国人との交流イベント	36

(道総合政策部国際局国際課調べ)

(2) 外国人児童・生徒等教育施設

学校名	設置名	所在地	電話
北海道朝鮮初中高級学校	学校法人北海道朝鮮学園	004-0874 札幌市清田区平岡4条2丁目6-1	011-881-3972
北海道インターナショナルスクール	学校法人北海道インターナショナルスクール	062-0935 札幌市豊平区平岸5条19丁目1-55	011-816-5000
北海道インターナショナルスクール・ニセコ校	学校法人北海道インターナショナルスクール	048-1501 虻田郡ニセコ町字富士見12	0136-55-5252

(道総務部教育・法人局学事課調べ)

(3) 道内における日本語教室設置状況

(2023年9月現在)

No	振興局	市町村	名称	開催場所/連絡先	開催内容			料金	
					定期/不定期	開催日時	対面のみ/オンラインのみ/対面・オンライン	有料/無料	有料の場合
1	空知	滝川市	たきかわにほんごひろば	〒073-0031 滝川市栄町4丁目9番1号 たきかわ観光国際スクエア内 TEL: 0125-74-8580 E-mail: tiea1@hotmail.co.jp	不定期	月1~2回程度 (日曜日開催) ※開催日は下記HPのとおり <a href="http://www.msknet.ne.jp/~tiea/">http://www.msknet.ne.jp/~tiea/</a>	対面のみ	無料	
2		妹背牛町	日本語勉強会	〒079-0501 雨竜郡妹背牛町字妹背牛247-2 妹背牛町民会館 TEL: 0164-32-2081	不定期	月2回程度 9:30~	対面のみ	無料	
3	石狩	札幌市	うえるかむはうす日本語教室	〒060-0031 札幌市中央区北1条東6丁目10 札幌教区カトリックセンター2階 うえるかむはうす E-mail: welcomehapanese@hotmail.co.jp	定期	火曜日・金曜日 10:30~12:00 それ以外の時間は相談	対面のみ	有料	¥1,000 週1回/月 ¥2,000 週2回/月
4		札幌市	SICPF 「はじめてのにほんごくらす」	〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNBビル3階 TEL: 011-211-2105	不定期	令和5年度は夏コース(7~8月)と冬コース(11~12月)各全6回 (土曜日午後各2時間)	対面のみ	無料	
5		札幌市	NPO法人エスニコ 「日本語サロン」	〒060-0061 札幌市中央区南1条西8丁目6-2 SITYビル7F-B エスニコ事務所 TEL: 011-211-0105 E-mail: s25@ngos25.org	定期	日曜日 17:00~18:00 詳細は下記HPのとおり <a href="https://www.ngos25.org">https://www.ngos25.org</a>	オンラインのみ	有料	1レッスン 1時間200円
6		札幌市	おしゃべりカフェリラ ~やさしい日本語の会~	E-mail: oshabericafelila@gmail.com	定期	①グループレッスン 第2・第4日曜日11:00~11:40 ②プライベートレッスン (初級レベルまで) 時間は講師と相談の上決定	オンラインのみ	無料	
7		札幌市	「さくらの木」 日本語ボランティア	〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条1丁目 札幌市生涯学習センター(ちえりあ) 2階サークル活動室 ※対面休止中 TEL: 090-7645-0983 E-mail: mailkinokino@gmail.com	不定期	月2回程度 月曜日 14:30~16:00 【事前問合せ先】 jcsakai201701@gmail.com 担当: 酒井	オンラインのみ	無料	

No	振興局	市町村	名称	開催場所/連絡先	開催内容			料金	
					定期/ 不定期	開催日時	対面のみ/ オンラインのみ/ 対面・オンライン	有料/ 無料	有料の 場合
8		札幌市	J.WORKS	〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ TEL: 090-2871-1537 /090-9750-2788	定期	日本語レッスンは休止中。 おしゃべりタイム (自由会話) 土曜日13:30~15:00 (毎月1回)	対面のみ	無料	
9		札幌市	日本語教室「空」	〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでの2・7 8F TEL: 011-709-7565	定期	火曜日 10:00~12:00 木曜日 10:00~12:00 火曜・木曜日ともに 初級 I・II、中級コース	対面のみ	有料	1ヶ月 1,000円
10		札幌市	日本語ボランティア「窓」	〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条6丁目 札幌留学生交流センター2階 会議室 TEL: 070-6607-3288	定期	下記HPのとおり <a href="https://mado-sapporo.wixsite.com/mado">https://mado-sapporo.wixsite.com/mado</a>	対面・オンライン	無料	
11	石狩	札幌市	H.I.W.A日本語教室 「まなぶ」	〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでの2・7 8F Email: 448konzertpeter.mar@ezweb.ne.jp	定期	水曜日 10:30~12:00 (初級、中級、上級) 13:00~14:30 (入門、初級、中級)	対面のみ	有料	1,000円/月
12		江別市	江別国際センターにほんご教室	〒069-0824 江別市東野幌本町6-43 市民交流施設ぶらっと内 TEL:011-381-1111 E-mail:info@ebetsu-iec.org	定期	初級 毎週日曜日 10:00~12:00 初中級 毎週火曜日 18:30~20:30 会話 毎週土曜日 10:00~11:30	対面のみ	有料	各クラス 毎月1,000円 テキスト代:別
13		恵庭市	日本語ひろば 「えにわ」	〒061-1442 恵庭市緑町2丁目1-1 えにあす内 E-mail:kikaku@city.eniwa.hokkaido.jp	定期	第1・第3火曜日 18:00~19:30	対面のみ	無料	
14		小樽市	日本語教室	〒047-0033 小樽市富岡1丁目5番1号(稲穂小学校内) 小樽市生涯学習プラザ TEL: 0134-23-0001 E-mail: hisyo@city.otaru.lg.jp	定期	毎週水曜日 10:00~11:30	対面のみ	無料	テキスト代: 2,700円別
15		留寿都村	日本語教室	〒048-1731 虻田郡留寿都村字留寿都206番地1 留寿都村公民館 TEL:0136-46-3131 E-mail:s-kikaku@vill.rusutsu.lg.jp	不定期	12月~3月(月1回) 10:00~11:30 全レベル (文法・会話)	対面のみ	無料	
16	後志	倶知安町	くっちゃんにほんごサロン 「にこちゃん」	〒044-0013 虻田郡倶知安町 南3条東4丁目 文化福祉センター TEL:0136-56-8001 E-mail:nicochan.nihongosalon@gmail.com	定期	水曜日14時~15時30分 木曜日18時~19時30分	対面のみ	無料	
17		倶知安町	SMILE Niseko Language school	(倶知安本教室) 〒044-0001 虻田郡倶知安町 北1条東1丁目2番地 E-mail:info@smileniseko.com	不定期	下記HP参照 <a href="http://www.smileniseko.com/">http://www.smileniseko.com/</a>	対面・オンライン ※基本的に 対面。 場合によ ってオンライン。	有料	
18	胆振	苫小牧市	苫小牧市国際交流サロ ン	〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号 苫小牧市役所7階 TEL: 0144-32-6157(国際交流担当) E-mail:mirai@city.tomakomai.hokkaido.jp	不定期	平日8:45~17:15 ※市役所開庁日時に準ずる (ボランティア講師と外国人 生徒のスケジュール調整により 開催日時・頻度は異なる)	対面のみ	無料	

No	振興局	市町村	名称	開催場所/連絡先	開催内容			料金	
					定期/不定期	開催日時	対面のみ/ オンラインのみ/ 対面・オンライン	有料/ 無料	有料の 場合
19	渡島	函館市	函館市日本語教室	〒040-0013 函館市千代台町27番5号 函館市青年センター TEL: 090-2697-4630 (函館日本語教育研究会) E-mail: keivivace@nifty.com	定期	5月～3月 (入門・初級Ⅰ) 月曜日: 18:45-20:00 (読み書き) 木曜日: 9:45-11:00 (入門・初級Ⅰ) 木曜日: 11:15-12:30 (初級Ⅱ) 木曜日: 18:45-20:00 (初級Ⅰ) 日曜日: 10:30-11:45 ※上記はあくまで予定となっており、申込者の状況によって、内容が変わることがあります。	対面・オンライン ※基本的に 対面に 対面によっ てオンライ ン。	無料	
20		函館市	日本語サロン	〒040-0013 函館市千代台町27番5号 函館市青年センター E-mail: jtshakodate@gmail.com	定期	毎週土曜日 10:45-12:15	対面のみ	無料	
21	上川	旭川市	初級・中級日本語教室	〒070-0031 旭川市1条通8丁目108番地 フィール旭川 7階 TEL: 0166-25-7491 E-mail: aic1_kokusai@city.asahikawa.lg.jp	定期	初級クラス、中級クラスともに 週1回(毎週日曜) 10:30-12:00 5月14日より10回	対面のみ	有料	全10回 3,000円 ※留学生、 生活保護 受給世帯は 無料
22	留萌	遠別町	えんべつ日本語教室「か けはし」	〒098-3543 天塩郡遠別町字本町4丁目1番地25 遠別町生涯学習センター「マナビィ・21」 TEL: 01632-7-2146 (協議会事務局: 遠別町役場)	定期	希望者1名あたり2週間に1回 60分/回	対面のみ	無料	
23	宗谷	猿払村	さるっぺら日本語教室	〒098-6232 猿払村鬼志別西町172番地1 TEL: 01635-2-3132	定期	対面クラス: 2コース(週1回) オンラインクラス: 1コース (週2回)	対面・オン ライン	無料	
24	オホーツク	北見市	日本語指導ボランティア いろはの会	〒090-0803 北見市朝日町37-53 TEL: 0157-24-6739 E-mail: iroha_kitami@yahoo.co.jp	不定期	ボランティアによる個別指導	対面・オン ライン	有料	指導者と受 講者ともに 1ヶ月500円
25		紋別市	日本語講座 日常会話・N4・N3	〒094-0004 紋別市本町3丁目2-12 もんべつ国際交流ステーション内 TEL: 0158-28-6388(生活・就労支援担当) E-mail: salon@city.mombetsu.lg.jp	定期	毎年5月～6月、10月～11月 週1回(日) 13:00-14:30、14:45-16:15	対面のみ	無料	
26		紋別市	オンライン日本語講座 日常会話・受験対策		定期	前年実績 7月～8月、10月～11月 週1回(金) 20:00～21:30	オンライン のみ	無料	
27		雄武町	おうむ日本語交流クラブ 《あいうえお》	E-mail: f.miura.oumu@gmail.com	不定期	月1～2回程度 (日曜日開催) ※開催日、開催場所はメールでお 知らせします。	対面のみ	無料	
28	十勝	帯広市	森の日本語レッスン	〒080-2470 帯広市西20条南6丁目1-2 TEL: 0155-34-0122 E-mail: tirc@city.obihiro.hokkaido.jp	定期	毎月第2・4土曜日 16:00-17:30 ※イベント等の関係で 中止となる場合があります。	対面のみ	無料	
29		音更町	一般社団法人 にほんご さぼーと北海道 (すぎえり日本語 教室)	〒080-0104 河東郡音更町新通11-4-35 TEL: 080-3292-2879 E-mail: info@nihongosupport- hk.or.jp/forforeigners	不定期	下記HPのとおり <a href="https://www.nihongosupport-hk.or.jp/forforeigners">https://www.nihongosupport- hk.or.jp/forforeigners</a>	対面・オン ライン	有料	応相談
30	釧路	釧路市	釧路国際交流の会 日本語サポート教室	〒085-0017 釧路市幸町3-3 釧路市観光国際交流センター2F くしろ国際交流プラザ内 TEL: 0154-65-6712 E-mail: info@kushiro-vista.com	定期	毎週(日曜日) 10:00～13:00	対面のみ	無料	
31		釧路市	日本語教室	〒085-0813 釧路市春採7-37-8 TEL: 090-9759-9634 E-mail: yoshi-ka@dream.jp	定期	土曜日・日曜日どちらか 週1回90分	対面のみ	有料	1回につき 2,000円

※日本語教室: 長期・短期滞在を問わず、在住外国人に対して学習指導を行うもの。NPO やボランティアが行うもの、不定期のものを含む。

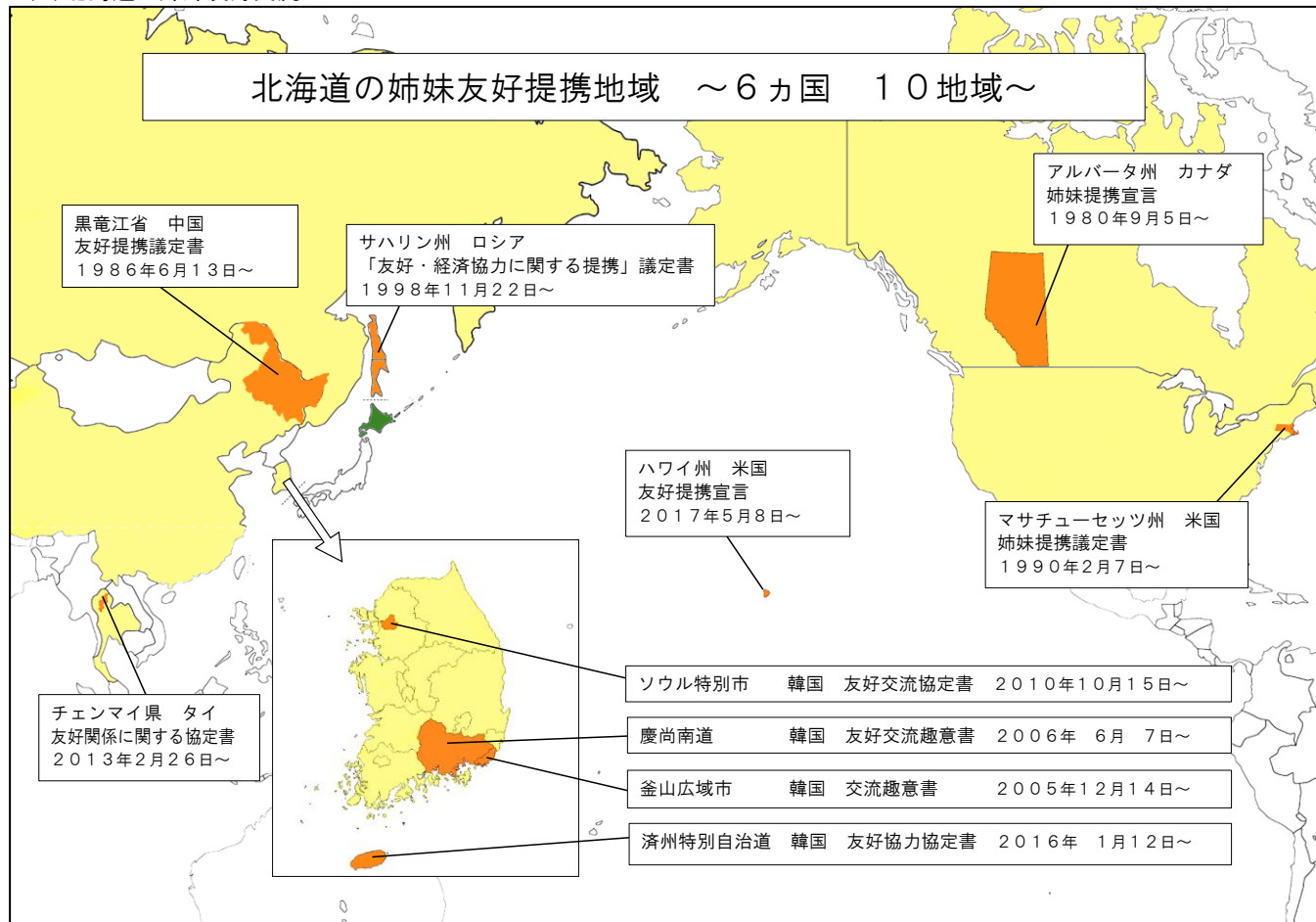
(道総合政策部国際局国際課調べ)

(4)道内の外国人向け相談窓口設置状況

内容	機関名称	所在地	TEL	備考・対応言語等
外国人からの相談全般	北海道外国人相談センター	札幌市中央区北3条西7丁目 道庁別館12階	011-200-9595	日本語、英語、中国語、韓国語、タガログ語、ベトナム語(曜日別)、ウクライナ語(曜日別)、スペイン語(曜日別)、タイ語(曜日別) ※電話通訳システムで上記以外の言語にも対応
外国人からの相談全般	さっぽろ外国人相談窓口	札幌市中央区北1条西3丁目 札幌Mビル3階	011-211-3678	やさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語(曜日別) ※電話通訳サービスで上記以外の言語にも対応
在留手続 資格外活動許可	札幌出入国在留管理局	札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎	0570-003-259	
	函館出張所	函館市海岸町24-4 函館港湾合同庁舎	0138-41-6922	
	旭川出張所	旭川市宮前1条3-3-15 旭川合同庁舎	0166-38-6755	
	釧路港出張所	釧路市南浜町5-9 釧路港湾合同庁舎	0154-22-2430	
	稚内港出張所	稚内市開運2-2-1 稚内港湾合同庁舎	0162-23-3269	
	千歳苫小牧出張所 苫小牧分室	苫小牧市港町1-6-15 苫小牧港湾合同庁舎	0144-32-9012	
手続き書類の作成 ・提出代行	北海道行政書士会	札幌市中央区北1条西10丁目1-6 北海道行政書士会館	011-221-1221	
国籍変更(帰化)	各地方務局			
	札幌法務局	札幌市北区北8条西2丁目1番1 札幌第1合同庁舎	011-709-2311	事前予約が必要
	函館地方務局	函館市新川町25番18号 函館地方合同庁舎	0138-23-9526	事前予約が必要
	旭川地方務局	旭川市宮前1条3丁目3番15号 旭川合同庁舎	0166-38-1165	事前予約が必要
	釧路地方務局	釧路市幸町10丁目3 釧路合同庁舎	0154-31-5015	事前予約が必要
求職相談	ハローワークプラザ札幌			
	外国人・留学生支援コーナー	札幌市中央区北4条西5丁目 大樹生命札幌共同ビル5階	011-200-9923	英語、中国語、韓国語の通訳あり(曜日別)
労働相談	外国人労働者相談コーナー			
	北海道労働局労働基準部監督課	札幌市北区北8条西2丁目 札幌第一合同庁舎9階	011-709-2311/ 0570-001-706	ベトナム語(月曜日)
	函館署	函館市新川町25番18号 函館地方合同庁舎	0138-87-7605	中国語(火曜日)
	釧路署	釧路市柏木町2-12	0154-42-9716	英語、タガログ語(金曜日)
	倶知安支署	虻田郡倶知安町南1条東3丁目1番地 倶知安地方合同庁舎	0136-22-2374	英語(火・木曜日)
技能実習に関する相談	外国人技能実習機構 札幌事務所	札幌市中央区北4条東2-8-2 マルイト北4条ビル5階	011-596-6470	
法律相談	外国人法律支援ネットワーク	担当弁護士の法律事務所の所在地	011-204-9535	予約制・原則日本語対応(英語、中国語対応は要相談)

(道総合政策部国際局国際課調べ)

7. 道内自治体の姉妹友好交流の状況  
(1) 北海道の姉妹友好交流



2022年度の交流事業

交流国・地域名	交流相手先 (提携年月日)	提携経緯	2022年度事業内容 (道総合政策部国際局国際課所管事業)
中国	黒竜江省 (1986年6月13日)	<p>北海道と中国との交流は、民間団体を中心に友好親善が図られてきたが、日中国交正常化や日中平和友好条約の締結、中華人民共和国駐札幌総領事館の開設を背景に、農業などの技術交流が盛んになった。</p> <p>1980年には黒竜江省外事弁公室副主任が来道し、友好提携についての提案があったほか、同年11月には胡耀邦総書記が来道し、交流の気運が一層高まった。</p> <p>北海道としては、自然条件や産業形態が類似しており、かつ、民間団体との交流実績がある中国東北地域の黒竜江省と交流を進めていくこととし、1984年9月、中日友好協会の招きで、北海道知事、北海道議会議長が訪中し、黒竜江省を訪問した際、道と省との間で技術交流を進めることに合意した。</p> <p>以来、一次産業の試験研究機関の研究者・技術者の相互派遣や共同研究、日本語教師の派遣など交流を積み重ねてきた。</p> <p>今後とも両地域の持続的な交流を進めるため、友好提携を行うこととし、1986年6月13日、札幌市で友好提携調印式を行った。</p>	<p>■黒竜江DAY事業(2022年9月)</p> <p>ザ・ルーテルホールで開催された二胡コンサート(日中国交正常化50周年事業)の会場入口で、黒竜江省の紹介パネルや過去に省側から贈呈された記念品の展示を実施。</p> <p>■北海道・黒竜江省高校生オンライン交流事業(2023年3月)</p> <p>35周年の覚書に基づき、コロナ禍でも実施可能なオンラインの活用による交流を両地域の高校生の間で実施。当日は、双方の高校生による地域(北海道/黒竜江省)の紹介のプレゼンに併せ、言語学習を兼ねたディスカッションを実施。(道側は中国語、省側は日本語で発言)</p>



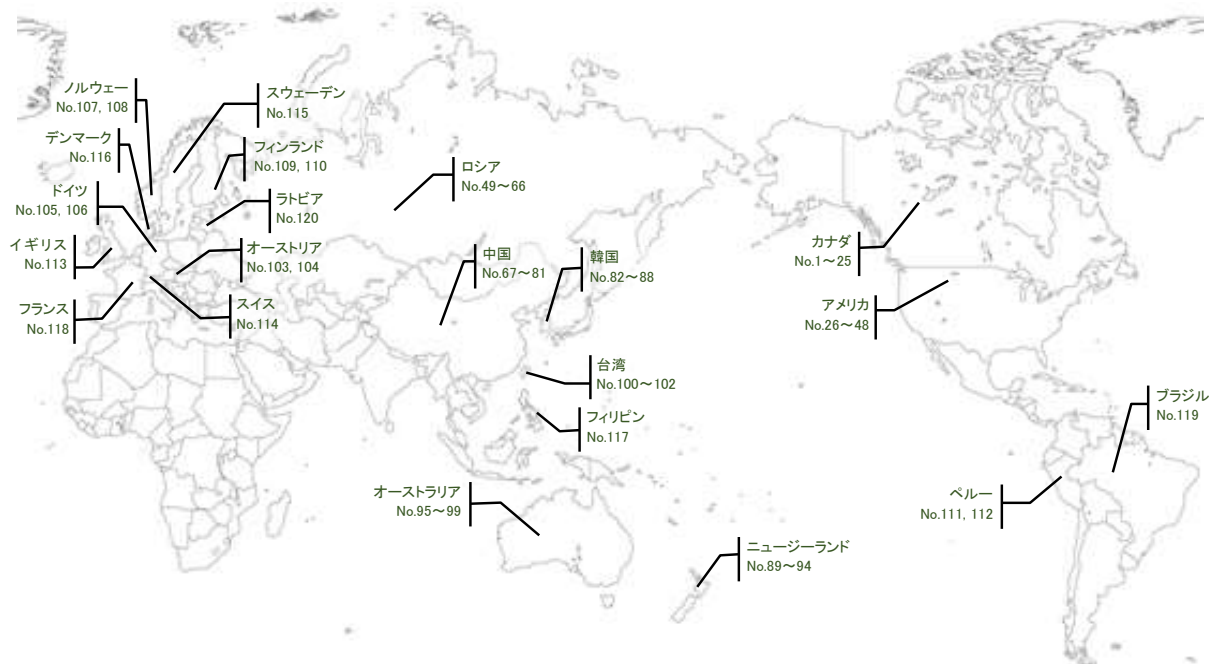
交流国・地域名	交流相手先 (提携年月日)	提携経緯	2022年度事業内容 (道総合政策部国際局国際課所管事業)
韓国	釜山広域市 (2005年12月14日)	東アジア地域の著しい経済発展、韓国との関係の密接化を踏まえ、「日韓友情年」に当たる2005年より、韓国第2の都市「釜山広域市」との交流を開始。 釜山港と北海道の4つの港が定期コンテナ船航路で結ばれているなど、もともと両地域は深いつながりを有しており、韓国における南の地域と日本における北の地域というそれぞれの地域の特徴を活かした交流を進めることにより、双方の活性化と発展につながるの考えで合意。 2005年12月13日～15日、北海道知事をはじめとする訪問団が釜山広域市を訪れ、交流趣意書に調印。	<p>■釜山・済州DAY(2023年1月)</p> <p>釜山広域市・済州特別自治道との友好提携日を記念し、交流の概要や釜山広域市・済州特別自治道の紹介に関するパネル展、国際交流員による紹介セミナーを開催。釜山広域市・済州特別自治道について広く道民に周知するとともに韓国文化についても紹介し、更なる交流促進をPR。</p> <p>■韓国DAY(2023年2月)</p> <p>友好提携関係にある韓国4地域との交流概要や各地域に関するパネル展を札幌ドーム(北海道コンサドーレ・ヴィッセル神戸戦)で開催。あわせて北海道コンサドーレ札幌所属の韓国選手からの北海道と韓国4地域との交流促進に関するメッセージを上映。韓国4地域との交流について北海道コンサドーレ札幌のサポーター等に周知するとともに韓国文化についても紹介し、更なる交流促進をPR。</p> <p>■プチコリアDAY(2023年3月)</p> <p>友好提携関係にある韓国4地域との交流概要に関するパネル展、韓国クイズ大会を開催。あわせて、済州国際青少年フォーラム参加高校生の報告会を開催し、更なる交流促進を道民にPR。</p>
	慶尚南道 (2006年6月7日)	東アジア地域の著しい経済発展、韓国との関係の密接化を踏まえ、2006年から韓国の慶尚南道との交流を開始。 韓国では北海道に対する関心が高く、日本でも韓流ブームなど韓国への関心が高まっており、釜山港と北海道の4つの港が定期コンテナ船航路で結ばれているほか、2006年6月には金海空港と新千歳空港に直行便が開通されるなど、両地域の結びつきが強くなり、韓国における南の地域と日本における北の地域というそれぞれの地域の特徴を活かした交流を進めることにより、双方の活性化と発展につながるの考えで合意。 2006年6月7日～9日、慶尚南道訪問団が北海道を訪れ交流趣意書に調印。	<p>■慶尚南道DAY(2022年6月)</p> <p>慶尚南道との友好提携日を記念し、交流の概要や慶尚南道の紹介に関するパネル展、国際交流員による紹介セミナーを開催。慶尚南道について広く道民に周知するとともに韓国文化についても紹介し、更なる交流促進をPR。</p> <p>■韓国DAY(2023年2月)</p> <p>友好提携関係にある韓国4地域との交流概要や各地域に関するパネル展を札幌ドーム(北海道コンサドーレ・ヴィッセル神戸戦)で開催。あわせて北海道コンサドーレ札幌所属の韓国選手からの北海道と韓国4地域との交流促進に関するメッセージを上映。韓国4地域との交流について北海道コンサドーレ札幌のサポーター等に周知するとともに韓国文化についても紹介し、更なる交流促進をPR。</p> <p>■プチコリアDAY(2023年3月)</p> <p>友好提携関係にある韓国4地域との交流概要に関するパネル展、韓国クイズ大会を開催。あわせて、済州国際青少年フォーラム参加高校生の報告会を開催し、更なる交流促進を道民にPR。</p>
	ソウル特別市 (2010年10月15日)	日本との交流拡大のため、新たな交流先を検討していたところ、独特の気候、風土を有し、優れた自然環境が保全されている北海道が候補に挙がり、2010年、双方の副知事・副市長が相互に訪問するなど、友好提携締結に向けて協議を開始。 同年5月には、ソウル市からの招へいにより多文化友好イベントである「ソウルフレンドシップフェア」に北海道から公演団を派遣。 こうした交流の盛り上がりを受けて、2010年10月14日～16日、北海道知事をはじめとする訪問団がソウル特別市を訪れ、友好交流協定書に調印。	<p>■ソウルDAY(2022年10月)</p> <p>ソウル特別市との友好提携日を記念し、交流の概要やソウル特別市の紹介に関するパネル展、国際交流員による「ハングルのしおり作り」を実施。ソウル特別市について広く道民に周知するとともに韓国文化についても紹介し、更なる交流促進をPR(駐日韓国大使館が主催する文化交流イベント「韓日文化キャラバン」の中で実施)。</p> <p>■韓国DAY(2023年2月)</p> <p>友好提携関係にある韓国4地域との交流概要や各地域に関するパネル展を札幌ドーム(北海道コンサドーレ・ヴィッセル神戸戦)で開催。あわせて北海道コンサドーレ札幌所属の韓国選手からの北海道と韓国4地域との交流促進に関するメッセージを上映。韓国4地域との交流について北海道コンサドーレ札幌のサポーター等に周知するとともに韓国文化についても紹介し、更なる交流促進をPR。</p> <p>■プチコリアDAY(2023年3月)</p> <p>友好提携関係にある韓国4地域との交流概要に関するパネル展、韓国クイズ大会を開催。あわせて、済州国際青少年フォーラム参加高校生の報告会を開催し、更なる交流促進を道民にPR。</p>
済州特別自治道 (2016年1月12日)	2012年4月、北海道知事と済州特別自治道知事が初めて会談し、交流を深めていくことを確認。2013年7月、再び両知事の会談が行われ、友好提携を進めることについて合意。 2016年1月11日～13日、北海道知事をはじめとする訪問団が済州特別自治道を訪れ、友好協力協定書に調印。	<p>■釜山・済州DAY(2023年1月)</p> <p>釜山広域市・済州特別自治道との友好提携日を記念し、交流の概要や釜山広域市・済州特別自治道の紹介に関するパネル展、国際交流員による紹介セミナーを開催。釜山広域市・済州特別自治道について広く道民に周知するとともに韓国文化についても紹介し、更なる交流促進をPR。</p> <p>■韓国DAY(2023年2月)</p> <p>友好提携関係にある韓国4地域との交流概要や各地域に関するパネル展を札幌ドーム(北海道コンサドーレ・ヴィッセル神戸戦)で開催。あわせて北海道コンサドーレ札幌所属の韓国選手からの北海道と韓国4地域との交流促進に関するメッセージを上映。韓国4地域との交流について北海道コンサドーレ札幌のサポーター等に周知するとともに韓国文化についても紹介し、更なる交流促進をPR。</p> <p>■プチコリアDAY(2023年3月)</p> <p>友好提携関係にある韓国4地域との交流概要に関するパネル展、韓国クイズ大会を開催。あわせて、済州国際青少年フォーラム参加高校生の報告会を開催し、更なる交流促進を道民にPR。</p>	

交流国・地域名	交流相手先 (提携年月日)	提携経緯	2022年度事業内容 (道総合政策部国際局国際課所管事業)
タイ	チェンマイ県 (2013年2月26日)	<p>2012年10月のバンコク-新千歳間の定期便の就航により、タイ王国と北海道の往来が活発化する中、自治体間交流を検討していたところ、駐日タイ王国大使から、ともに国の北部に位置し、観光や農業などが発展していることなどの共通点を有するチェンマイ県が推薦され、これをきっかけに交流を開始。</p> <p>2013年2月26日、チェンマイ県知事をはじめとする訪問団が来道し、知事公館にて友好関係協定書の調印がなされた。</p>	<p>■タイ旅行博覧会(2023年2月) 友好提携10周年を記念し、①北海道とチェンマイ県との友好パネルの展示、②北海道コンサドーレ札幌所属のスパチョーク選手による友好提携10周年のタイ国民向けメッセージ上映</p> <p>■チェンマイDAY(2023年2月) 友好提携10周年を記念し、①北海道とチェンマイ県との友好パネルの展示、②北海道コンサドーレ札幌所属のスパチョーク選手による友好提携10周年の北海道民向けメッセージ上映</p>
カナダ	アルバータ州 (1980年9月5日、 エドモントン 1980年10月17日、 札幌)	<p>積雪寒冷など北海道と気候風土の類似するカナダ、アメリカ北部、中国東北部、ソ連極東・シベリアなどの北方圏地域と生活、文化、学術、スポーツ、産業経済など各般の交流を通じて、相互の地域の発展を図ろうとする「北方圏構想」が1971年から道の重要施策として位置付けられた。</p> <p>以来、これらの地域との交流を通じて、各地域の優れた英知や経験を学び、北国の風土にふさわしい豊かな道民生活を築くため、北方圏交流を進めている。1972年9月に知事を団長とし、道内各界代表から成る「訪カナダ、アラスカ経済・文化視察団」がアルバータ州を訪問した際、本道とアルバータ州の交流を進めることで合意し、その後、各分野における活発な交流が始められた。</p> <p>特に、北海道の提唱で1974年9月に札幌市で開催された北方圏環境会議の第2回会議が1979年9月アルバータ州で開催されたことにより、それまで以上に強い絆で結ばれ、姉妹提携の気運が盛り上がった。以上のような経緯のもと、姉妹提携調印式を1980年9月5日エドモントン市で、同年10月7日札幌市で行った。</p>	<p>■アルバータDAY(2022年9月) ANAクラウンプラザホテル千歳において、「日本カナダ学会第47回 年次研究大会」の開催に合わせ、アルバータDAY事業を実施。アルバータ州のパネル展やパンフレットの配布を実施。</p>

交流国・地域名	交流相手先 (提携年月日)	提携経緯	2022年度事業内容 (道総合政策部国際局国際課所管事業)
アメリカ	マサチューセッツ州 (1990年2月7日)	<p>本道の開拓初期、アメリカをはじめとする諸外国から様々な技術を吸収するため、多くの専門家が北海道に招かれた。中にはケブロン米国農務長官、札幌農学校(現北海道大学)の初代教頭クラーク博士など、マサチューセッツ州出身者がおり、北海道発展の基盤づくりに大きく貢献。道民の心にその存在を深く刻み込んだ。</p> <p>1968年、130名の青年訪問団がマサチューセッツ州を訪問。以後、青年と女性の同州への派遣が継続的に実施されるようになった。</p> <p>1985年3月、マサチューセッツ州知事夫人(当時)の北海道訪問の際に、姉妹提携の申し入れがあり、1987年3月、マサチューセッツ州側の民間交流促進団体として「マサチューセッツ・北海道姉妹提携委員会」が発足。</p> <p>1987年10月、州政府からの招待を受け、北海道知事がマサチューセッツ州を訪問し、州知事と姉妹提携に関する覚書を締結。</p> <p>1988年1月、北海道大学学長(当時)等の呼びかけにより、「北海道・マサチューセッツ州交流委員会」が設立。</p> <p>1988年1月、「友好の翼」により約220名の道民がマサチューセッツ州を訪問。こうした両地域間の交流拡大を踏まえ、1990年2月7日、札幌市にて姉妹提携議定書を調印。</p> <p>これを受け、北海道側では北海道・マサチューセッツ協会が、マサチューセッツ州側ではマサチューセッツ・北海道姉妹交流協会が、民間の交流推進母体として設立。</p>	<p>■マサチューセッツDAY(2022年11月) 「国際ユースフォーラム・札幌大会」の会場でパネル展示を行い、マサチューセッツ州との交流の概要などについて情報発信を行った。</p>
	ハワイ州 (2017年5月8日)	<p>2012年の直行便の就航を契機に、北海道とハワイ州は交流が進み、2014年1月、友好締結を視野に入れた相互協力等に関する覚書を締結。</p> <p>2016年10月、副知事が知事の親書をもってハワイ州を訪問した際、2017年5月の友好提携締結の意向が示される。</p> <p>2017年5月8日、知事をはじめとする北海道訪問団140名がハワイ州を訪問し、北海道とハワイ州との友好提携を締結。</p>	<p>■オンラインセミナー(2022年5月) 友好提携5周年を記念し、ハワイと北海道との交流に関する理解を促進するため、北海道民向けにオンラインセミナーを実施。教育・観光・経済など分野ごとの交流について、両地域の関係者が対談した。</p> <p>■ハワイ州知事ほか来道(2022年10月) 友好提携5周年を記念し、ハワイ州知事及びハワイ訪問団が来道。知事及び道議会議長表敬、教育関係者との懇談、交換留学等で交流のある学校を訪問した。また、道主催でハワイの文化に関するイベント及び記念レセプションを実施した。</p> <p>■副知事ほかハワイ州訪問(2023年1月) 友好提携5周年を記念し、副知事、道議会、北海道アイヌ舞踊チームがハワイ州を訪問。知事及び上下両院議長表敬、交換留学等で交流のある学校への訪問、先住民族交流、北海道産品のPR、北海道からの進出企業を訪問したほか、ハワイ州主催の記念レセプションに出席した。</p> <p>■ハワイDAY(2022年5月及び2023年3月) 札幌市内において、両地域間の相互理解の増進に向けたパネルを展示するなど、ハワイ州との交流の概要等について情報発信を行った。</p>

交流国・地域名	交流相手先 (提携年月日)	提携経緯	2022年度事業内容 (道総合政策部国際局国際課所管事業)
ロシア	サハリン州 (1998年11月22日)	1995年9月「北方圏フォーラム」第2回総会のため来道したサハリン州ファルフトジノフ知事が堀北海道知事を表敬訪問した際、両地域の姉妹提携についての申し入れがあった。	■北海道とロシア連邦極東地域との経済協力に関する常設合同委員会 ※ウクライナ情勢を踏まえ、実施を延期
		1997年9月、北海道とロシア連邦極東地域との経済協力に関する常設合同委員会第5回定例会議に出席するため、堀知事が初めてサハリン州を訪問した際、ファルフトジノフ知事と会議を行ない、「友好・経済協力に関する提携」に向けた取り組みに着手することなどを盛り込んだ共同声明に調印した。	■北海道・サハリン州友好・経済協力推進協議会 ※ウクライナ情勢を踏まえ、実施を延期
		この共同声明を受けて、1998年1月、北海道側において市長村や民間団体の実務者による提携検討会が発足し、幅広い意見を取り入れながら、提携に向けた準備を進めた。	■北海道とサンクトペテルブルク市との協力発展に関するワーキンググループ会合 ※ウクライナ情勢を踏まえ、実施を延期
		1998年5月、サハリン州において知事定期会談が行なわれ、提携に関して、次回の知事会談において提携調印の具体的な日時などを含む覚書を取り交わすことで合意、同年8月、北海道において開催された知事会談において、年内に提携調印が実現するよう、全力を尽くすことなどを合意した覚書が調印され、1998年11月22日に「友好・経済協力に関する提携」議定書が調印された。	■北海道・サハリン州市民交流会議 ※ウクライナ情勢を踏まえ、実施を延期
			■青少年サハリン・北海道「体験・友情の翼」 ※ウクライナ情勢を踏まえ、実施を延期
			■ロシア語弁論大会 ※ウクライナ情勢を踏まえ、実施を延期
			■日本語スピーチコンテスト(2022年12月) ※ 例年、本件は道とサハリン州の共催で開催していたが、2022年度は、サハリン州が単独開催
	■北海道フェア ※ウクライナ情勢を踏まえ、実施を中止		

(2) 道内市町村の姉妹友好交流の状況(2023年4月1日現在)



No	国・地域名	州等名	市町村名	市町村名	提携年月日	提携順	
1	カナダ	ブリティッシュ・コロンビア州	アシュクラフト	美深町	1994年7月23日	74	
2			アボツフォード	深川市	1998年9月14日	90	
3			キャッスルガー	遠別町	1989年6月21日	47	
4			キャンベルリバー	石狩市	1983年10月24日	35	
5			ケネル	白老町	1981年7月13日	31	
6			サマーランド	豊頃町	1996年6月11日	78	
7			スパークウッド	上砂川町	1980年9月23日	28	
8			バーナビー	釧路市	1965年9月9日	4	
9			ペンティクトン	池田町	1977年5月19日	23	
10			ポートアルバーニ	網走市	1986年2月9日	42	
11			ポートハーディ	沼田町	1994年9月3日	75	
12			レイクカウチン	伊達市	1989年10月8日	51	
13		アルバータ州	ウェタスキウィン	足寄町	1990年9月15日	55	
14			カムローズ	上富良野町	1985年9月5日	41	
15			キャンモア	東川町	1989年7月12日	48	
16			ステットラー	興部町	1990年6月26日	54	
17			ストニブレイン	鹿追町	1985年8月26日	40	
18			バーヘッド	北見市	1991年7月4日	62	
19			ホワイトコート	湧別町	1998年7月17日	88	
20			ラコム	陸別町	1986年7月5日	43	
21			ロッキーマウンテンハウス	上川町	1984年6月21日	37	
22			オンタリオ州	ケノーラ	下川町	2001年2月16日	96
23				リンゼイ(現カワーサレイクス)	名寄市	1969年8月1日	12
24			ノバ・スコシア州	ハリファックス	函館市	1982年11月25日	34
25			プリンス・エドワード島州	シャーロットタウン	芦別市	1993年7月1日	71
26	アメリカ	アラスカ州	アンカレジ	千歳市	1969年4月21日	10	
27			シトカ	根室市	1975年12月19日	21	
28			スワード	帯広市	1968年3月27日	9	
29			パーマ	佐呂間町	1980年10月28日	29	
30			フェアバンクス	紋別市	1991年2月8日	59	
31			ホーマー	天塩町	1984年4月7日	36	

No	国・地域名	州等名	市町村名	市町村名	提携年月日	提携順
32	アメリカ	オレゴン州	キャンビー	岩見沢市	1989年7月19日	49
33			グレシャム	江別市	1977年5月20日	24
34			シーサイド	積丹町	1966年5月17日	6
35			ニューポート	紋別市	1966年4月8日	5
36			ポートランド	札幌市	1959年11月17日	1
37			カリフォルニア州	トレーシー	芽室町	1989年8月5日
38		ハンフォード		せたな町	1991年8月11日	63
39		マサチューセッツ州	コンコード	七飯町	1997年11月15日	85
40			スプリングフィールド	滝川市	1993年8月7日	72
41		アイダホ州	ポカテロ	岩見沢市	1985年5月20日	39
42		イリノイ州	ブルーミントン、ノーマル	旭川市	1962年10月11日	2
43		ウイスコンシン州	マディソン	帯広市	2006年10月25日	105
44		ケンタッキー州	レキシントン	新ひだか町	1988年7月21日	45
45		コロラド州	アスペン	占冠村	1991年8月29日	64
46		テネシー州	ノックスビル	室蘭市	1991年1月16日	58
47		ニュージャージー州	エリザベス	北見市	1969年6月12日	11
48		北マリアナ諸島	サイパン	登別市	2006年11月20日	106
49		ロシア	サハリン州	アニワ	東川町	2019年9月18日
50	オジョールスキ			猿払村	1990年12月25日	56
51	コルサコフ			稚内市	1991年7月2日	61
52				紋別市	1991年1月12日	57
53	セベロクリリスク			根室市	1994年1月27日	73
54	トマリ			天塩町	1992年7月28日	67
55	ドーリンスク			名寄市	1991年3月25日	60
56	ネベリスク			稚内市	1972年9月8日	17
57	ホルムスク			釧路市	1975年8月27日	20
58	ポロナイスク			北見市	1972年8月13日	15
59	ユジノサハリンスク			函館市	1997年9月27日	82
60				旭川市	1967年11月10日	8
61	稚内市		2001年9月9日	97		
62	沿海地方		ウラジオストク	函館市	1992年7月28日	66
63			ナホトカ	小樽市	1966年9月12日	7
64	ノボシビルスク州		ノボシビルスク	札幌市	1990年6月13日	53
65	ハバロフスク地方		ワニノ	石狩市	1993年6月3日	70
66	ブリヤート共和国		ウラン・ウデ	留萌市	1972年7月5日	14
67	中国	—	天津市	函館市	2001年10月18日	98
68		山東省	泗水県	弟子屈町	2005年10月21日	103
69			日照市	室蘭市	2002年7月26日	100
70			浜州市	弟子屈町	2005年10月21日	104
71		遼寧省	瀋陽市	札幌市	1980年11月18日	30
72			朝陽市	帯広市	2000年11月17日	95
73			撫順市	夕張市	1982年4月19日	33
74		河南省	商丘市	弟子屈町	2005年9月17日	102
75		河北省	秦皇島市	苫小牧市	1998年9月1日	89
76		広東省	広州市	登別市	2002年5月19日	99
77		吉林省	長春市	千歳市	2004年10月11日	101
78		黒龍江省	哈爾濱市	旭川市	1995年11月21日	77
79		湖南省	汨羅市	赤平市	1999年9月30日	92
80		四川省	彭州市	石狩市	2000年10月24日	94
81		福建省	漳州市	伊達市	2010年4月7日	111

No	国・地域名	州等名	市町村名	市町村名	提携年月日	提携順
82	韓国	—	ソウル特別市江西区	小樽市	2009年2月5日※1	110
83			蔚山広域市南区	網走市	2012年4月27日	115
84			大田広域市	札幌市	2010年10月22日	112
85		京畿道	高陽市	函館市	2011年8月1日	114
86			水原市	旭川市	1989年10月17日	52
87		慶尚南道	晋州市	北見市	1985年5月16日	38
88		江原道	三陟市	赤平市	1997年7月18日	80
89		ニュージーランド	カンタベリー地方	セルウィン	湧別町	2000年7月14日
90	ティマル			恵庭市	2008年2月13日	108
91	オタゴ地方		ダニーデン	小樽市	1980年7月25日	27
92	タスマン地方		モトエカ	清里町	1997年9月7日	81
93	ホークスベイ地方		ネーピア	苫小牧市	1980年4月22日	26
94	ワイカト地方		ケンブリッジ	美幌町	1997年10月12日	83
95	オーストラリア	ニュー・サウス・ウェールズ州	ゴールバーン・マルワリー	士別市	1999年7月3日	91
96			レイク・マコーリー	函館市	1992年7月31日	68
97		クイーンズランド州	ゴールドコースト	鷹栖町	1997年11月18日	86
98		タスマニア州	クラレンス	厚岸町	1982年2月9日	32
99		ビクトリア州	ミッチェル	本別町	1991年9月15日	65
100	台湾	—	新北市烏来区	白糠町	2017年7月24日	119
101			高雄市大樹区	大樹町	2015年9月1日	117
102		彰化県	二水郷	津別町	2012年10月8日	116
103	オーストリア	ザルツブルク州	サールフェルデン	蘭越町	1969年10月15日	13
104		シュタイヤマルク市	シュラートミンク	富良野市	1977年2月23日	22
105	ドイツ	バイエルン州	パッサーブルグ	別海町	1979年5月1日	25
106			ミュンヘン	札幌市	1972年8月28日	16
107	ノルウェー	ヴィーケン県	コングスベルグ	千歳市	1988年8月31日	46
108			フログン	広尾町	1996年10月22日	79
109	フィンランド	カンタ=ハメ県	ハウスヤルビ	奈井江町	1995年4月1日	76
110		ラッピ県	ケミヤルヴィ	壮瞥町	1993年5月22日	69
111	ペルー	フニン県	タルマ	剣淵町	2015年9月28日	118
112			バルカマヨ	剣淵町	2011年7月6日	113
113	イギリス	スコットランド地方	イースト・ダンバートンシャイア	余市町	1997年11月11日	84
114	スイス	グラウビュンデン州	サンモリッツ	倶知安町	1964年2月1日	3
115	スウェーデン	ダーラナ県	レクサンド	当別町	1987年10月5日	44
116	デンマーク	南デンマーク地域	ファボー・ミッドフュン	登別市	2007年6月10日	107
117	フィリピン	コルディリエラ行政地域	バギオ	稚内市	1973年3月20日	19
118	フランス	ブルゴーニュ=フランシュ=コンテ州ジュラ県	モアラン・アン・モンターニュ	遠軽町	1998年5月22日	87
119	ブラジル	サンパウロ州	バストス	遠軽町	1972年10月19日	18
120	ラトビア	ヴァルミエラ州	ルーイエナ	東川町	2008年7月17日	109

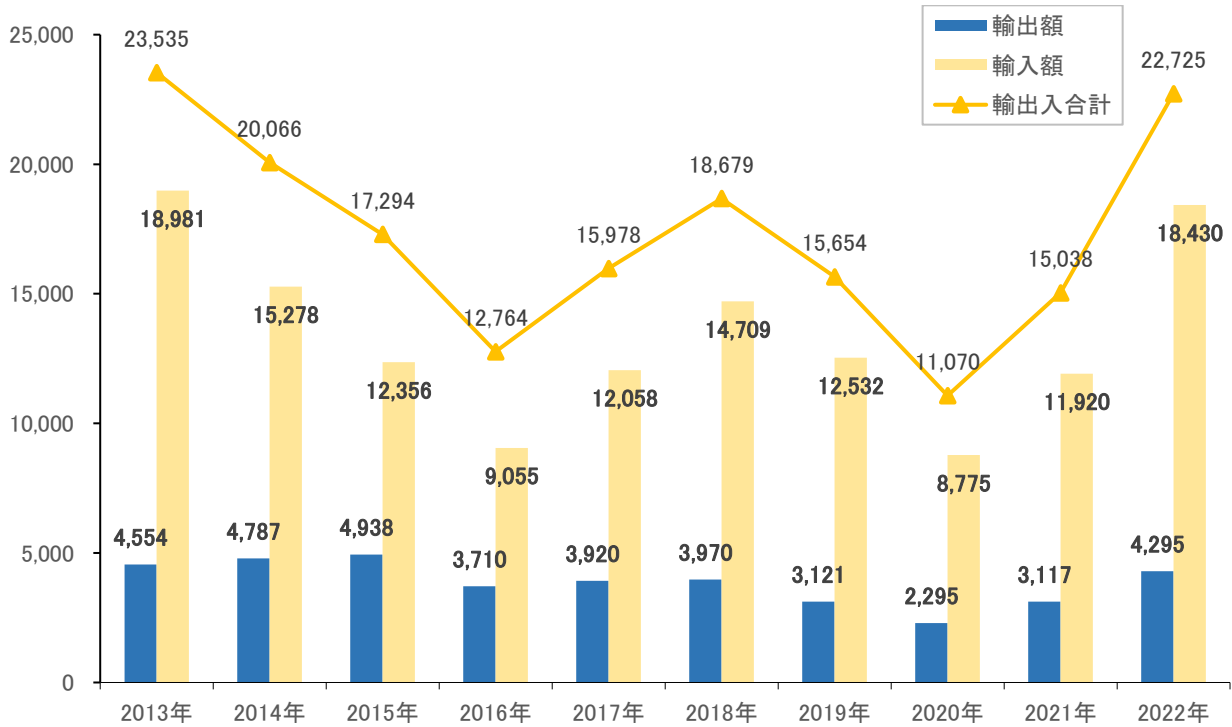
※1 2009年2月5日に友好都市、2010年7月22日に姉妹都市として提携

(道総合政策部国際局国際課調べ)

## 8. 国際経済の状況

### (1) 貿易額の推移

(単位: 億円)



(単位: 百万円)

区分	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
輸出	455,446	478,726	493,807	370,972	391,981	397,003	312,126	229,540	311,721	429,482
輸入	1,898,089	1,527,829	1,235,568	905,452	1,205,794	1,470,908	1,253,246	877,493	1,192,040	1,843,009
輸出入合計	2,353,535	2,006,555	1,729,375	1,276,424	1,597,775	1,867,911	1,565,371	1,107,033	1,503,762	2,272,491
輸出入差引額	▲1,442,642	▲1,049,103	▲741,761	▲534,480	▲813,813	▲1,073,905	▲941,120	▲647,953	▲880,319	▲1,413,527

(出典: 函館税関「北海道外国貿易概況」)

### (2) 品目別輸出額

2022年の輸出は、再輸出品、魚介類、同調製品、自動車の部分品などが増加し、2年連続のプラス。

(単位: 億円)

区分	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
魚介類及び同調製品	531	613	689	585	536	624	538	435	617	833	19.4%
輸送用機器	1,171	1,542	1,315	997	817	643	529	373	552	847	19.7%
鉄鋼	637	709	790	426	471	461	392	323	459	476	11.1%
一般機械	520	427	423	479	440	465	429	357	382	424	9.9%
鉄鋼くず	148	166	139	123	187	242	180	154	282	308	7.2%
紙及び板紙	70	112	163	176	197	207	158	110	101	166	3.9%
石油製品	207	128	97	31	89	39	38	66	95	95	2.2%
非金属鉱物製品	33	34	55	37	40	53	68	57	60	44	1.0%
電気機器	169	202	170	152	142	149	134	58	51	68	1.6%
果実及び野菜	19	21	31	38	30	28	29	41	37	48	1.1%
その他	1,049	833	1,066	666	971	1,059	626	321	481	986	22.9%
合計	4,554	4,787	4,938	3,710	3,920	3,970	3,121	2,295	3,117	4,295	100.0%

(出典: 函館税関「北海道外国貿易概況」)



## (3) 品目別輸入額

2022年の輸入は、原油・粗油、石炭、天然ガス・製造ガスなどが増加し、2年連続のプラス。

(単位: 億円)

区分	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
原油及び粗油	10,743	6,246	3,457	2,098	3,160	3,357	3,636	1,733	3,061	4,981	27.0%
石炭	996	905	967	702	1,173	1,228	1,139	743	1,375	2,543	13.8%
魚介類及び同調製品	767	641	622	607	842	824	759	673	905	964	5.2%
とうもろこし	484	436	415	372	382	415	452	406	611	903	4.9%
石油製品	1,423	1,700	1,778	971	1,699	2,475	634	326	586	986	5.4%
一般機械	412	482	370	435	616	613	637	473	573	625	3.4%
天然ガス及び製造ガス	218	365	282	225	257	448	476	479	560	1,053	5.7%
飼料	436	438	398	334	356	419	422	478	540	723	3.9%
肥料	356	299	362	263	270	301	238	203	254	605	3.3%
電気機器	291	400	277	264	274	378	355	228	213	442	2.4%
その他	2,855	3,366	3,428	2,784	3,029	4,251	3,784	3,033	3,242	4,605	25.0%
合計	18,981	15,278	12,356	9,055	12,058	14,709	12,532	8,775	11,920	18,430	100.0%

(出典: 函館税関「北海道外国貿易概況」)

## (4) 道内輸出国(地域)順位表

(単位: 百万円)

順位	2020年			2021年			2022年		
	国(地域)名	輸出額	構成比	国(地域)名	輸出額	構成比	国(地域)名	輸出額	構成比
1	中華人民共和国 →	48,764	21.2%	中華人民共和国 →	78,689	25.2%	中華人民共和国 →	145,696	25.2%
2	香港 ↑	26,708	11.6%	アメリカ合衆国 ↑	43,318	13.9%	アメリカ合衆国 →	50,852	13.9%
3	大韓民国 ↓	20,072	8.7%	大韓民国 →	28,689	9.2%	大韓民国 →	28,689	9.2%
4	アメリカ合衆国 ↓	19,692	8.6%	タイ ↑	24,062	7.7%	タイ →	24,062	7.7%
5	タイ ↓	18,226	7.9%	ベトナム ↑	22,819	7.3%	ベトナム →	22,819	7.3%
6	ベトナム ↑	12,436	5.4%	台湾 ↑	13,385	4.3%	ロシア ↑	13,385	4.3%
7	台湾 ↑	11,882	5.2%	香港 ↓	12,901	4.1%	台湾 ↓	12,901	4.1%
8	ロシア ↑	7,672	3.3%	ロシア →	8,266	2.7%	ブラジル ↑	8,266	2.7%
9	マレーシア ↓	6,657	2.9%	インドネシア ↑	7,993	2.6%	香港 ↓	7,993	2.6%
10	インドネシア ↑	6,101	2.7%	シンガポール ↑	6,778	2.2%	オランダ ↑	6,778	2.2%
	その他	51,330	22.4%	その他	64,820	20.8%	その他	108,040	25.2%
	合計	229,540	100.0%	合計	311,721	100.0%	合計	429,482	100.0%

※国(地域)名横の矢印は、前年順位からの変動を表す。

(出典: 函館税関「北海道外国貿易概況」)

## (5) 道内輸入国(地域)順位表

(単位:百万円)

順位	2020年			2021年			2022年		
	国(地域)名	輸入額	構成比	国(地域)名	輸入額	構成比	国(地域)名	輸入額	構成比
1	中華人民共和国 →	122,968	14.0%	オーストラリア ↑	132,747	11.1%	サウジアラビア ↑	266,511	14.5%
2	大韓民国 ↑	86,314	9.8%	中華人民共和国 ↓	128,432	10.8%	オーストラリア ↓	242,999	13.2%
3	アメリカ合衆国 ↑	86,027	9.8%	サウジアラビア ↑	120,237	10.1%	中華人民共和国 ↓	195,668	10.6%
4	オーストラリア ↓	78,213	8.9%	アメリカ合衆国 ↓	113,831	9.5%	アメリカ合衆国 →	167,405	9.1%
5	サウジアラビア ↓	75,503	8.6%	ロシア ↑	112,319	9.4%	大韓民国 ↑	135,069	7.3%
6	ロシア →	71,279	8.1%	アラブ首長国連邦 ↑	95,673	8.0%	ロシア ↓	130,036	7.1%
7	クウェート ↑	44,423	5.1%	大韓民国 ↓	87,005	7.3%	アラブ首長国連邦 ↓	120,482	6.5%
8	ブラジル ↑	34,255	3.9%	カタール ↑	55,092	4.6%	クウェート ↑	68,586	3.7%
9	アラブ首長国連邦 ↓	29,721	3.4%	クウェート ↓	36,152	3.0%	マレーシア ↑	60,880	3.3%
10	カナダ ↑	25,759	2.9%	ブラジル ↓	30,831	2.6%	カナダ ↑	49,605	2.7%
	その他	223,031	25.4%	その他	279,723	23.5%	その他	405,768	22.0%
	合計	877,493	99.9%	合計	1,192,040	99.9%	合計	1,843,009	100.0%

※国(地域)名横の矢印は、前年順位からの変動を表す。

(出典:函館税関「北海道外国貿易概況」)

## (6) 食の輸出実績

2022年の道産食品の輸出額は、ホタテガイやミルク・クリームの輸出増加等により前年比約218.5億円増(+28.4%)。

## 【品目別輸出額の推移】

(単位:億円)

大品目	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2022年対前年	
						増減額	増減率
農畜産物 農畜産加工品	35.0	40.0	55.4	47.6	62.7	+15.1億円 (+31.8%)	ミルク・クリーム 14.7億円 (+4.4億円) たまねぎ 13.3億円 (+10.4億円) ながいも 12.5億円 (△0.5億円)
水産物 水産加工品	624.4	538.4	435.1	617.1	833.0	+215.9億円 (+35.0%)	ホタテガイ 618.0億円 (+185.0億円) ナマコ 79.2億円 (△7.9億円) サケ・マス 61.3億円 (+31.2億円)
その他 加工食品	114.7	86.0	87.4	106.0	93.6	△12.4億円 (△11.7%)	菓子類 46.1億円 (△12.4億円) 野菜調製品 19.4億円 (+0.9億円) 水・清涼飲料水 8.4億円 (+0.6億円)
合計	774.2	664.4	577.9	770.7	989.3	+218.5億円 (+28.4%)	

〔注1〕財務省の貿易統計(道内港通関分)に基づき道が作成。〔注2〕端数処理の関係で合計額が一致しない場合がある。

(出典:道経済部食関連産業局食産業振興課「北海道食の輸出拡大戦略&lt;第Ⅱ期&gt;推進状況報告書」)

## 【主要な品目の輸出額の推移】

(単位:億円)

品目	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2021年→2022年の増減
ホタテガイ	398.7	321.7	225.3	433.0	618.0	+185.0億円 (+42.7%)
サケ・マス	40.8	34.0	33.1	30.1	61.3	+31.2億円 (+103.7%)
ながいも	15.4	13.3	11.3	13.0	12.5	△0.5億円 (△4.0%)
たまねぎ	1.1	3.4	14.5	2.9	13.3	+10.4億円 (+360.0%)
菓子類	89.0	54.8	46.5	58.5	46.1	△12.4億円 (△21.2%)

〔注1〕財務省の貿易統計(道内港通関分)に基づき道が作成。〔注2〕端数処理の関係で合計額が一致しない場合がある。

(出典:道経済部食関連産業局食産業振興課「北海道食の輸出拡大戦略&lt;第Ⅱ期&gt;推進状況報告書」)

【主な地域別の輸出額の推移】

(単位: 億円)

項目	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2022年 対前年	
						増減額	増減率
中国、台湾 香港、韓国	627.3	537.4	451.7	599.9	731.3	+131.4 億円 (+21.9%)	ホタテガイ 492.4 億円 (+129.3 億円) ナマコ 79.0 億円 (△ 7.7 億円) サケ・マス 19.0 億円 (+ 9.7 億円)
ASEAN	75.4	72.3	74.5	70.6	104.0	+33.4 億円 (+47.3%)	サケ・マス 42.3 億円 (+ 21.5 億円) その他菓子類 8.7 億円 (+ 0.8 億円) サバ 4.9 億円 (+ 1.6 億円)
欧米	66.5	48.8	44.9	90.7	145.3	+54.6 億円 (+60.2%)	ホタテガイ 118.0 億円 (+ 53.1 億円) その他調製食料品 3.5 億円 (± 0 億円) カニ 3.3 億円 (+ 1.9 億円)

〔注1〕財務省の貿易統計(道内港通関分)に基づき道が作成。〔注2〕端数処理の関係で合計額が一致しない場合がある。

(出典:道経済部食関連産業局食産業振興課「北海道食の輸出拡大戦略<第Ⅱ期>推進状況報告書」)

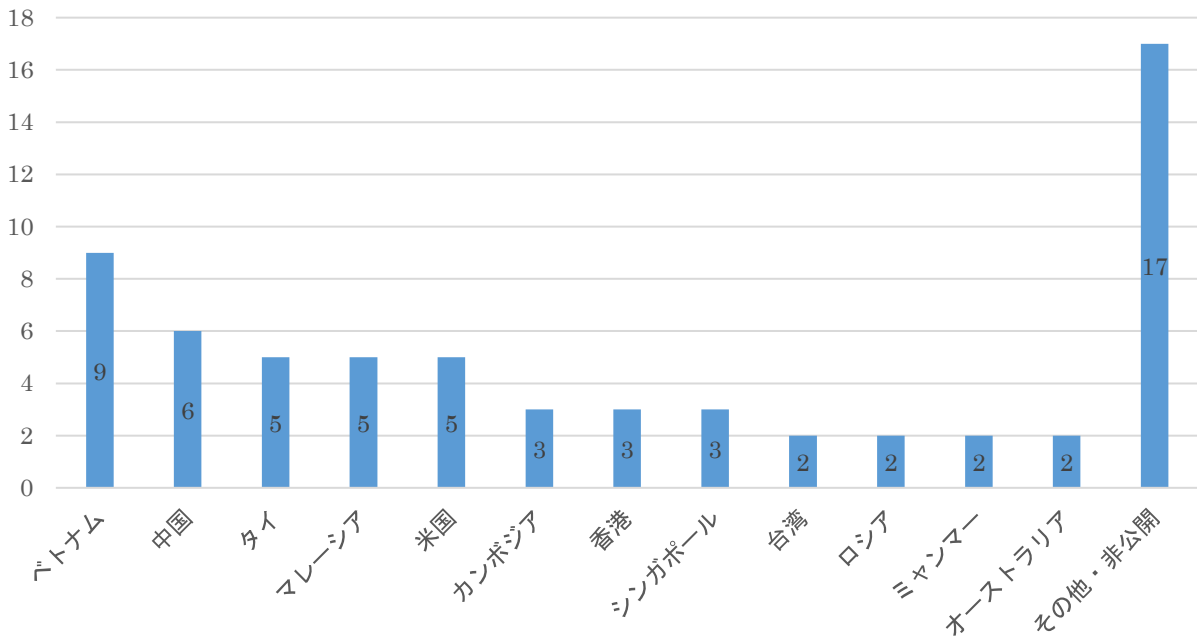
(7)企業の進出状況

(単位: 件)

区分	国・地域	2019年	2020年	2021年	区分	国・地域	2019年	2020年	2021年
北東アジア	中国	101	95	82	中南米	チリ	2	2	2
	台湾	32	32	27		メキシコ	1	2	2
	韓国	17	20	16		アルゼンチン	1	1	1
	香港	16	16	13		エクアドル	1	1	1
	モンゴル	4	4	3		ペルー	1	1	1
	小計	170	167	141		パナマ	1	1	1
東南アジア	タイ	34	34	35	ドミニカ共和国	1	1	0	
	ベトナム	34	36	32	小計	8	9	8	
	シンガポール	29	28	26	欧州	ドイツ	5	6	5
	マレーシア	19	21	22		スペイン	2	2	2
	ミャンマー	6	6	5		フランス	2	2	1
	フィリピン	4	5	5		英国	1	1	1
	インドネシア	6	5	4		ハンガリー	1	1	1
	カンボジア	2	2	1		フィンランド	1	1	1
	ラオス	1	0	0		スロバキア	1	1	1
小計	135	137	130	ウクライナ		1	1	1	
南西アジア	インド	2	3	3		イタリア	1	1	0
	パキスタン	1	1	1	オランダ	1	0	0	
	バングラデシュ	1	1	1	小計	16	16	13	
	小計	4	5	5	ロシアCIS	ロシア	16	17	13
中央アジア	キルギス	1	1	1	小計	16	17	13	
	小計	1	1	1	中東	UAE	1	1	1
北米	米国	35	34	33		イスラエル	1	1	1
	カナダ	4	5	4		小計	2	2	2
	小計	39	39	37	オセアニア	オーストラリア	3	4	4
					ニュージーランド	1	2	2	
					小計	4	6	6	
					非公開・進出国不明	6	4	5	
					総計	401	403	361	

(出典:JETRO 北海道・道経済部経済企画局国際経済課「道内企業の海外事業展開(貿易・海外進出等)実態調査」)

(8) 道内企業の今後3年以内の海外展開拠点設置計画



(出典: JETRO 北海道・道経済部経済企画局国際経済課「道内企業の海外事業展開(貿易・海外進出等)実態調査」)

(9) 訪日外国人来道者数の推移

(単位:人)

国・地域	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	構成比
中国	546,600	666,000	708,900	594,000	-	-	21,900	3.2%
韓国	424,300	639,400	731,200	436,900	-	-	218,900	31.6%
台湾	529,600	614,800	594,200	488,900	-	-	134,400	19.4%
香港	170,800	203,200	205,000	177,800	-	-	67,800	9.8%
シンガポール	60,700	69,300	83,800	71,600	-	-	24,000	3.5%
マレーシア	125,800	124,400	128,900	106,900	-	-	27,800	4.0%
タイ	168,700	159,400	235,200	210,600	-	-	61,700	8.9%
ロシア	10,300	14,100	17,900	8,000	-	-	-	-
米国	65,100	77,100	103,400	104,100	-	-	36,600	5.3%
カナダ	20,100	22,400	20,700	18,600	-	-	7,400	1.1%
豪州	48,200	54,500	68,400	54,600	-	-	30,900	4.5%
その他	131,000	147,500	217,400	170,000	-	-	60,800	8.8%
合計	2,301,200	2,792,100	3,115,000	2,442,000	-	-	692,200	-

(出典: 道経済部観光局観光振興課「訪日外国人来道者数(実人数)の推移」)